

趣味

ライフ



With コロナ

これからの 住宅事情

山の恵みふんだんな庭

と。そこに暮らす私や家族にとっても街にとっても、心豊かになる癒やしの空間造りをしたいと思っていました。

■庭師 眞利

また庭の完成が近づいたころ、二人の老夫婦が「こんな自然観たっぷりの庭を見たことがあります、散歩するコースを変えまし

た。毎日の散歩が楽しくなります、ありがとうござい

ます」と私に言ってくれ

ました。このことを庭師の親

方に話すと「いつも通りで

す。私が創りましたが、感

動を与えたのは山の

恵みの力です」と

言い切った。そして

「日本人のDNAが

まだまだ生きてい

る。しかし私も多く

の庭を手がけました

が、仕事中に街の人

とこれほど仲良くな

ったのは初めてで、

庭師眞利に尽きま

す」と笑顔で答えて

くれた。

今、時代は新型コ

ロナウイルスの影響

により、働き方も大きく変化し、家にいる時間が増えてきました。このような時代だからこそ庭の持つ意味をもつ一度考えてもらいたいのです。

■庭造りサポート

例え一本のモミジだけでもいい、かわいらしい小さな野草でもいい、緑を育てることでも得られる喜びが必要ではないでしょうか。

でも素人では上手くいかないのも現実です。そのような人のために、各務原市の伊木山ガーデン内に、現代風にアレンジしたこれまでにない全く新しい形のガーデンニングショップ『てんとつむしの館』を近く本格オープンします。そこでは庭造りのサポートや花壇造りのお手伝いをさせていただきます、より多くの人に山の恵

みの持つ魅力を伝えていきます。

「家庭とは、家と庭から成り立ちます。それだけ日本人にとって特別な事だ

とつくづく感じます」と代表

の高柳太さん(37)は笑顔で

話してくれました。皆さん、

時間があればぜひお立ち寄

りください。(一般社団法人「日本の山の恵みを生かす会」代表・吉田和弘)

△月1回掲載します
よしだ・かずひろ 195

9年3月、三重

県大台町生まれ、愛知県豊山

町在住。40年の

建設関連会社勤務の間、代表

作「スローハウスシリーズ」

など、木造住宅とエネルギー

の関連をテーマに書籍編集・

出版に携わった。昨年、一般

社団法人「日本の山の恵みを

生かす会」を立ち上げ、次世代

の住宅エネルギーについて、

活動の具現化に努めている。

■山の恵みで癒やし

新緑から深緑へ変化してゆく山々。里山ではホテルが舞い始める季節となってきました。わが家のモミジ、アセビなどもすっかり鮮やかな緑一色になり、雨の中に咲くアジサイもまた風情があり、テラスで頂くコーヒーも格別な味がします。私が、家造りを考えた時、大切にしたいかったことの一つが、日本の山の恵みである草木をふんだんに使うこ

■子どもの歓声

私の庭の工事が始まったのは昨年5月中旬でした。通学の子どもたちが立ち止まり、「わーカッコいい」「キレイ」と言う言葉が連発。それは一度や二度ではなく、庭が出来ていく過程で絶えず聞かれました。そんな子どもたちの声を耳にしたベテラン職人さんたち。満面の笑みを浮かべながら、仕事の手を休めて楽しんで会話する光景は、日常茶飯事でした。



野趣豊かな植栽など、山の恵みが並び、庭造りのサポートなども行う「てんとつむしの館」各務原市鶴沼丸子町、伊木山ガーデン内